



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

2020年度 中間決算説明会

2020年11月19日
証券コード：5269



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

1. 事業環境と成長分野への取り組み
2. 2020年度中間業績概要
3. 2020年度通期業績・配当予想
4. 2018年度中期経営計画業績推移
5. 参考資料

1. 事業環境と成長分野への取り組み
2. 2020年度中間業績概要
3. 2020年度通期業績・配当予想
4. 2018年度中期経営計画業績推移
5. 参考資料

経営理念

「コンクリートを通して、
安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する」

◆ 安心・安全な社会

当社の
キーワード

- ◆ 防災・減災
- ◆ 国土強靱化
- ◆ 老朽化したインフラの更新

◆ 豊かな社会

当社の
キーワード

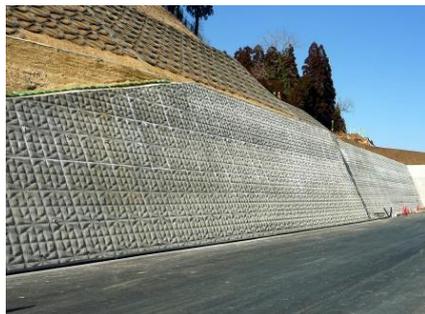
- ◆ 次世代通信網5G
- ◆ リニア新幹線
- ◆ 地球温暖化対策(CO₂削減)
- ◆ リサイクル製品
- ◆ 防音製品
- ◆ 省人省力化
- ◆ 長寿命で高品質

事業環境

- ◆ゲリラ豪雨等の頻発・激甚化する洪水等災害対策が全国各地で求められている
- ◆災害発生時の早期復旧への対応が求められている

日コングループの取り組み

- ◆雨水貯留管や地下調整池築造への製品提供
- ◆道路の擁壁や調整池の側壁建造、都市河川の護岸改修
- ◆山の斜面等への法面補強工事



法面補強工事(フリー工業)

調整池・護岸改修(PC一壁体)

雨水貯留管・地下調整池(セグメント)

事業環境

- ◆ 高度経済成長期に整備されたインフラの老朽化対策
- ◆ 労働人口減少を背景とした良質なプレキャストコンクリート製品への期待(省人省力化)
- ◆ 次世代通信網5Gやリニア新幹線整備等の新需要

日コングループの取り組み

- ◆ インフラ更新需要の着実な取り込み、ポールメンテナンス
- ◆ 施工を容易にし、工期短縮に貢献する製品の開発・拡販
- ◆ 新需要へ対応する製品の開発・生産工場の整備



既製杭施工(RSCP/パイル)



プレキャスト建材(親杭/パネル)



セメント新聞記事
(2020年9月28日)

施工性を高めた新継柱
(キャップオンポール)

事業環境

- ◆ ESG投資がクローズアップされ、環境への取り組みが求められている
- ◆ 地球温暖化対策として、CO₂削減等への様々な取り組みが注目されている

日コングループの取り組み

- ◆ 産業廃棄物であるコンクリートスラッジを利活用しCO₂を固定化、そのスラッジから再生されるPAdeCS(リン資源回収)等製品の販路拡大
- ◆ 太陽光発電(再生可能エネルギー)の継続
- ◆ ポールリサイクル事業の取り組み
- ◆ 吸音材事業の拡大



NC田川発電所(太陽光発電)



セメント新聞記事
(2020年6月29日)

GSC賞奨励賞受賞(環境事業)

1. 事業環境と成長分野への取り組み
- 2. 2020年度中間業績概要**
3. 2020年度通期業績・配当予想
4. 2018年度中期経営計画業績推移
5. 参考資料

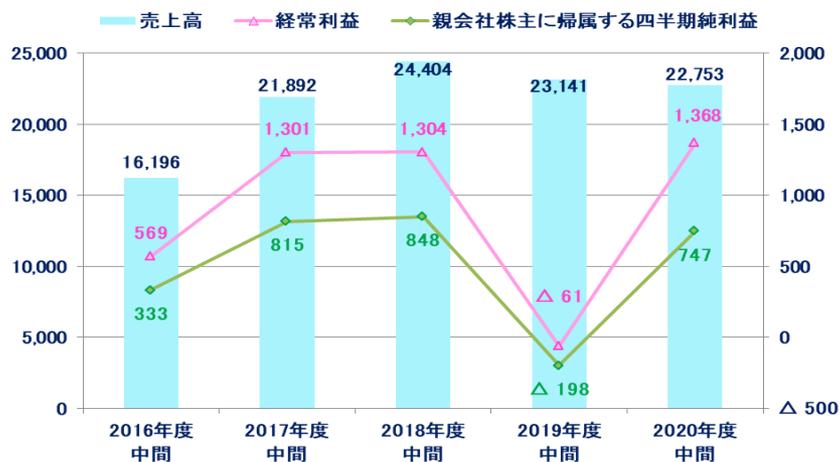
連結損益計算書

◆売上高は前年同期比減、公表値比において未達ながら、利益については前年同期比、公表値比とも増益を達成

(単位:百万円)

	前中間期	当中間期	増減		公表値
	実績 (A)	実績 (B)	前期比 (B)-(A)=(C)	増減率(%) (C)/(A)	2020年 5月20日
売上高	23,141	22,753	△ 387	-1.7%	24,500
営業利益	△ 330	1,037	1,367	-	650
経常利益	△ 61	1,368	1,429	-	850
親会社株主に 帰属する四半期純利益	△ 198	747	945	-	550

◆ 過去5年間の推移(中間・通期)



連結セグメント別売上高・損益

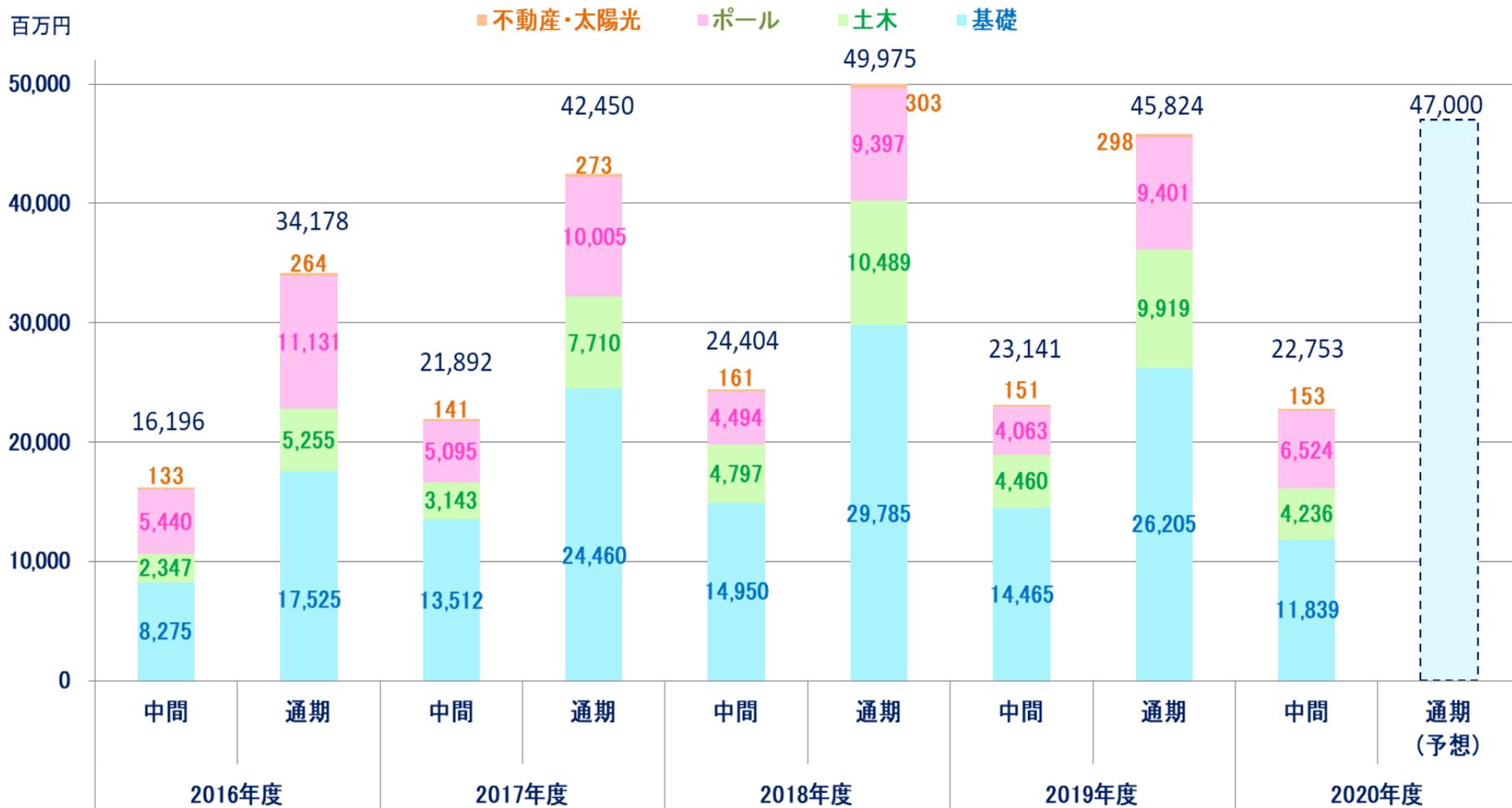
- ◆セグメント売上高はコンクリート二次製品事業において大幅増収となり、セグメント利益は基礎事業・コンクリート二次製品事業ともに黒字回復または増益
- ◆全社費用も着実に削減し、黒字回復へ大きく寄与

(単位:百万円)

売上高				
	前中間期	当中間期	増減額	増減率
	(A)	(B)	(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
基礎事業	14,465	11,839	△ 2,626	-18.2%
コンクリート二次製品事業	8,524	10,760	2,236	26.2%
不動産・太陽光発電事業	151	153	2	1.7%
計	23,141	22,753	△ 387	-1.7%
営業損益				
基礎事業	△ 83	522	606	-
コンクリート二次製品事業	563	1,229	666	118.3%
不動産・太陽光発電事業	82	89	7	8.9%
調整額	△ 892	△ 804	87	-
計	△ 330	1,037	1,367	-

連結セグメント別売上高推移

- ◆ポール製品事業で大幅増収、過去5年間で最高の売上高に
- ◆基礎事業と土木製品事業は前年同期比で減収



◆ 売上高は見込みを下回ったが、利益は予想比増益

<売上高>

①基礎事業(大幅未達)

- ◆ 全国需要は見通しより約10%減少
- ◆ 東日本エリアは増収、西日本エリアで大きく減収

②ポール製品事業(概ね見込み通り)

- ◆ 全国需要は概ね横ばい
- ◆ 携帯キャリア向け・ミャンマーが大きく伸長、
大型建柱工事の完工

③土木製品事業(未達)

- ◆ セグメントは工事遅延の影響を受け減収
- ◆ PC-壁体、建築材料、フリー工業は増収

<利益>

①売上総利益

◆ 事業立て直しによる効果（前年同期比約12億円）

基礎事業

: 案件進捗管理徹底、効率的な工事、
当社主力市場の関東地区の需要回復、
赤字案件減少

ポール製品事業: 大型建柱工事の完工、分割型ポールの
比率上昇、川島工場の損益改善、
ミャンマーでの収益本格化

土木製品事業

: 当社独自技術のPC一壁体工事増加、
フリー工業の増益

②営業利益

◆ 販管費の削減効果（前年同期比実質約2.8億円）

⇒ 特定費目を中心に徹底的な削減実施

貸倒引当金繰入額1.3億円増加

連結貸借対照表

- ◆新型コロナウイルス感染症の環境下、手元資金を厚くするため有利子負債が増加
- ◆現預金が20億円強増加し、純有利子負債は大幅に減少

(百万円)	前期末	当中間期	増減額
流動資産	27,663	29,479	1,815
たな卸資産	8,517	8,780	262
固定資産	42,550	43,246	696
有形固定資産	25,840	25,677	△ 162
無形固定資産	328	340	11
投資その他の資産	16,381	17,229	847
資産合計	70,214	72,726	2,511

(百万円)	前期末	当中間期	増減額
負債合計	32,934	34,206	1,271
有利子負債	10,916	11,480	564
純資産合計	37,279	38,520	1,240
株主資本	25,571	26,322	751
その他の包括利益累計額合計	9,966	10,468	501
非支配株主持分	1,741	1,728	△ 13
負債純資産合計	70,214	72,726	2,511

	前期末	当中間期	増減
総資産	70,214	72,726	2,511
有利子負債	10,916	11,480	564
自己資本	35,538	36,791	1,253
D/Eレシオ(倍)	0.31	0.31	0.00

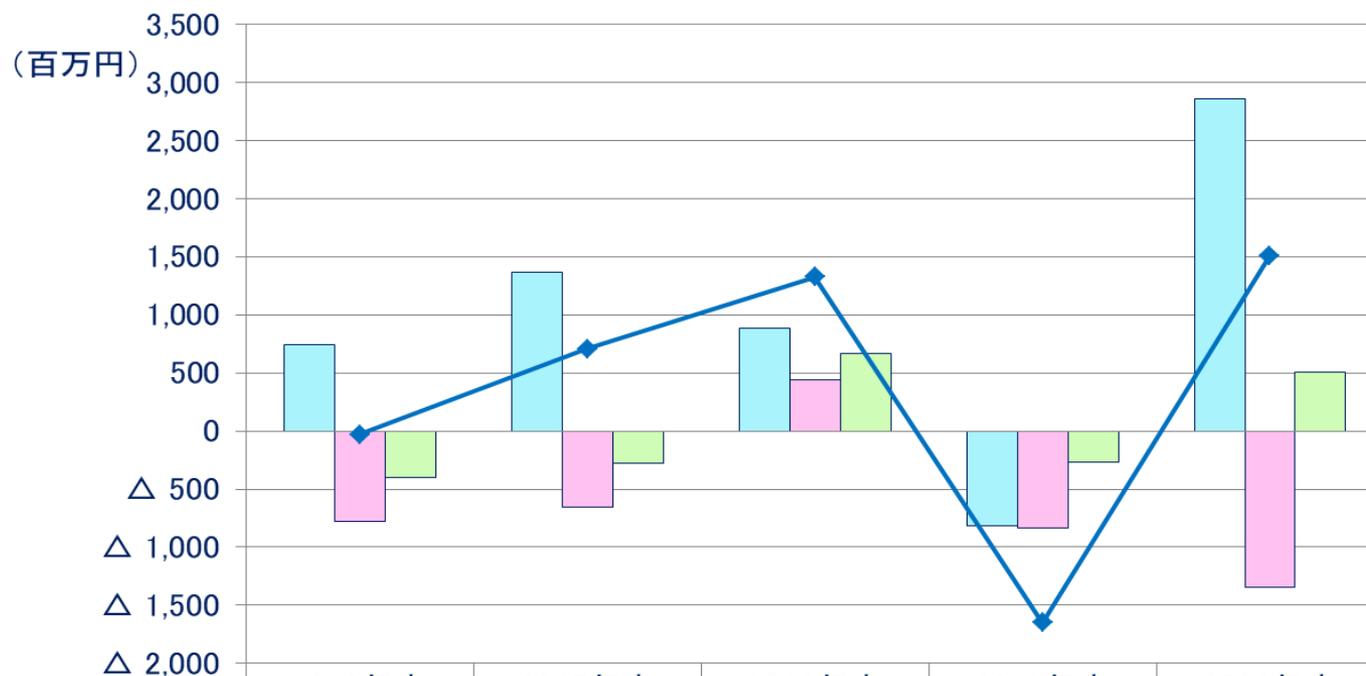


* 長期・短期借入金＋社債－現預金

連結キャッシュフロー計算書



◆利益の大幅増等により、営業CFが大幅に改善



	2016年度 中間	2017年度 中間	2018年度 中間	2019年度 中間	2020年度 中間
営業キャッシュフロー	746	1,363	887	△ 813	2,860
投資キャッシュフロー	△ 776	△ 656	440	△ 839	△ 1,349
財務キャッシュフロー	△ 402	△ 279	671	△ 267	505
フリーキャッシュフロー	△ 29	706	1,328	△ 1,652	1,510

1. 事業環境と成長分野への取り組み
2. 2020年度中間業績概要
- 3. 2020年度通期業績・配当予想**
4. 2018年度中期経営計画業績推移
5. 参考資料

通期業績予想



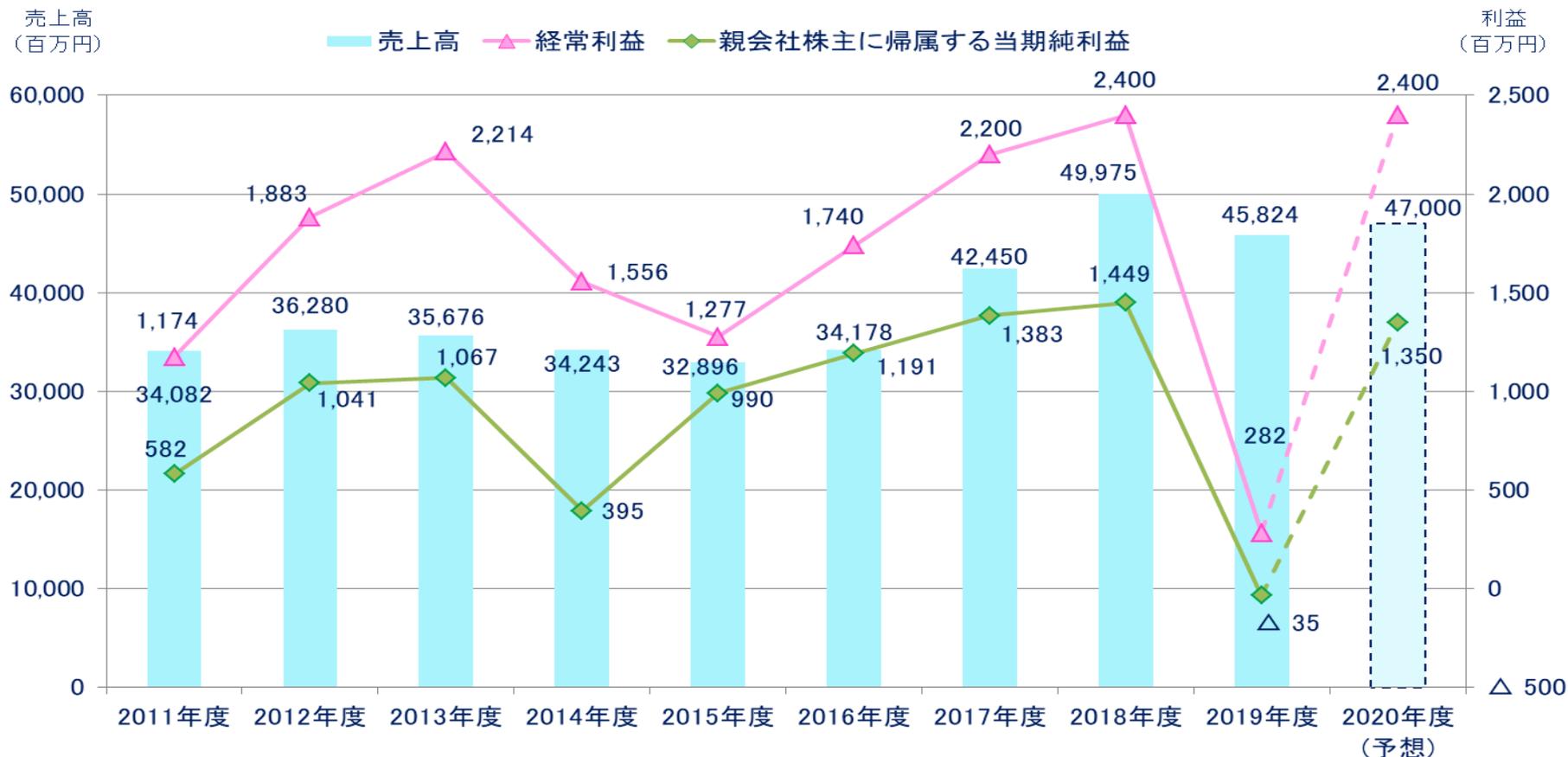
◆事業環境の見通しと諸施策の進捗状況、中間期の実績を勘案し、5月20日公表の当初予想から、売上高は若干の減少と想定するものの、利益は大幅な増加を見込む

(単位:百万円)

	2019年度		2020年度(11/12 公表値)				通期比		通期業績予想に対する進捗率
	前期実績 (A)		中間期 (実績)		通期(予想) (B)		増減額 (B) - (A) = (C)	増減率 (C) / (A)	
売上高	45,824	100.0%	22,753	100.0%	47,000	100.0%	1,175	2.6%	48.4%
営業利益	△ 86	-0.2%	1,037	4.6%	2,050	4.4%	2,136	-	50.6%
経常利益	282	0.6%	1,368	6.0%	2,400	5.1%	2,117	748.9%	57.0%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	△ 35	-0.1%	747	3.3%	1,350	2.9%	1,385	-	55.3%
配当(円)	2.0	-	2.5	-	6.0	-	4.0	200.0%	41.7%

◆売上高は前年比若干の増加を見込むものの、利益は中間期に続き大幅な回復を見込み、特に経常利益については過去10年間で最高の2018年度に迫る見通し

◆ 過去10年間の推移(通期)



通期配当予想

- ◆ 中間配当は5月20日公表の当初予想2.5円を据え置いた
- ◆ 通期配当は業績予想の修正を踏まえ、当初予想の5円から1円増額し6円に予想を修正

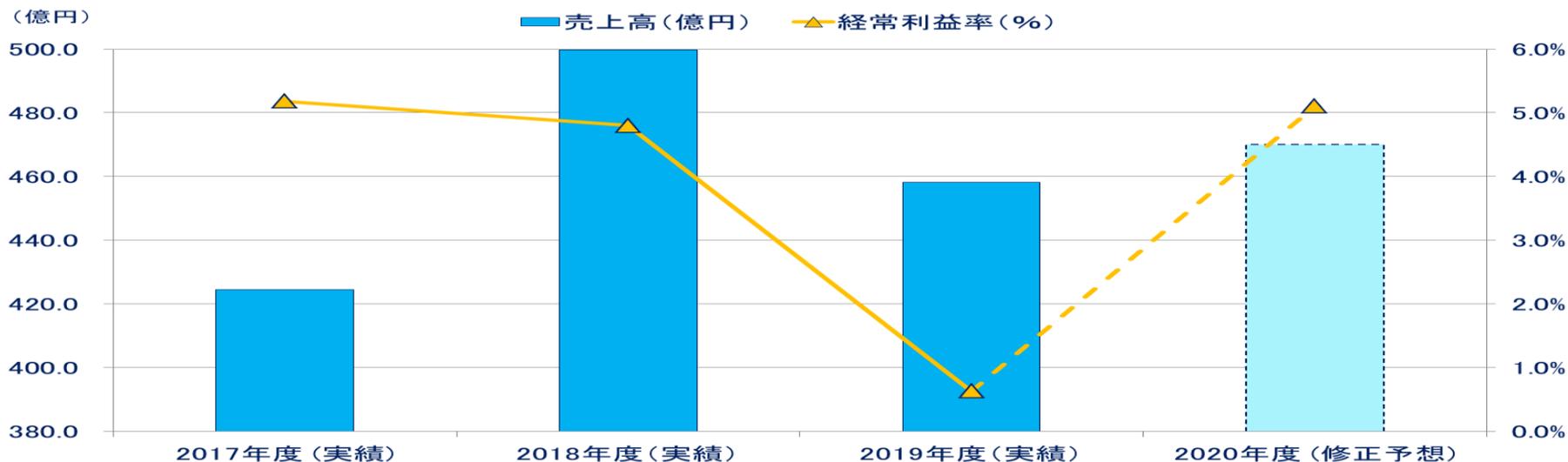


1. 事業環境と成長分野への取り組み
2. 2020年度中間業績概要
3. 2020年度通期業績・配当予想
4. 2018年度中期経営計画業績推移
5. 参考資料

2018年中期経営計画 業績推移



- ◆2018年中期経営計画の策定時と、当社グループを取り巻く事業環境は一変している
- ◆18中経と比べると、2020年度の修正予想は各指標において未達を見込む
- ◆しかしながら、環境変化対応への諸施策が奏功し、次の中経に臨む下地は整う見込み



	2017年度 (実績)	2018年度 (18中経) (実績)		2019年度 (実績)	2020年度 (18中経) (当初予想) (修正予想)	
売上高(億円)	424.5	440.0	499.7	458.2	480.0	470.0
経常利益(億円)	22.0	19.5	24.0	2.9	26.5	24.0
経常利益率(%)	5.2%	4.4%	4.8%	0.6%	5.5%	5.1%
総資産経常利益率 (ROA)	3.1%	2.8%	3.2%	0.4%	3.9%	3.4%
配当金(円/年)	7.0	7.0	7.0	2.0	9.0	6.0

◆ご注意

この資料に記載されている業績予想等は、本資料作成時において、入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります、いかなる確約や保証を行うものではありません。

◆お問い合わせ先

日本コンクリート工業株式会社

社長室 株式・IRグループ

TEL : 03-3452-1025

FAX : 03-3452-1121

E-mail : ir@star.ncic.co.jp

HP : <https://www.ncic.co.jp/>



参考資料

1. 連結損益計算書 概要
2. 連結貸借対照表 概要
3. 連結キャッシュフロー 概要
4. 19年度・20年度上期地域別パイル需要
5. 20年度上期パイル全国需要推移
6. 20年度上期パイル全国生産・出荷実績及びシェア
7. 20年度上期ポール全国需要推移
8. 20年度上期ポール全国生産・出荷実績及びシェア
9. 連結売上高営業利益率/経常利益率の推移
10. 設備投資/減価償却費の推移
11. 社債・借入金残高の推移
12. 会社概要
13. 経営理念
14. 製品・工法紹介
15. 生産・営業拠点

連結損益計算書概要



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

(単位:百万円)

科目	前中間期		当中間期		増減額	増減率
	(A)		(B)		(B)-(A)=(C)	(C)/(A)
売上高	23,141	100.0%	22,753	100.0%	△ 387	-1.7%
売上原価	20,464	88.4%	18,860	82.9%	△ 1,603	-7.8%
売上総利益	2,677	11.6%	3,893	17.1%	1,216	45.4%
販管費及び一般管理費	3,008	13.0%	2,856	12.6%	△ 151	-5.0%
営業利益	△ 330	-1.4%	1,037	4.6%	1,367	-
営業外損益	269	1.2%	330	1.5%	61	23.0%
経常利益	△ 61	-0.3%	1,368	6.0%	1,429	-
特別損益	△ 117	-0.5%	△ 60	-0.3%	56	-
税金等調整前当期純利益	△ 178	-0.8%	1,307	5.7%	1,486	-
法人税、住民税及び事業税	89	0.4%	393	1.7%	304	339.9%
法人税等調整額	△ 159	-0.7%	70	0.3%	230	-
当期純利益	△ 108	-0.5%	843	3.7%	951	-
非支配株主に帰属する当期純利益	90	0.4%	96	0.4%	5	6.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	△ 198	-0.9%	747	3.3%	945	-

連結貸借対照表概要



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

(単位:百万円)

科目	前期末	当中間期	増減額	科目	前期末	当中間期	増減額
	(A)	(B)	(B) - (A)		(A)	(B)	(B) - (A)
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	27,663	29,479	1,815	流動負債	20,194	21,942	1,747
現金及び預金	5,121	7,152	2,031	仕入債務	12,615	12,251	△ 364
売上債権	12,517	12,519	2	短期借入金(含む1年内)	4,342	5,513	1,170
たな卸資産	8,517	8,780	262	その他	3,237	4,178	940
その他	1,507	1,026	△ 481	固定負債	12,739	12,263	△ 475
固定資産	42,550	43,246	696	社債	31	18	△ 13
有形固定資産	25,840	25,677	△ 162	長期借入金	5,915	5,071	△ 843
無形固定資産	328	340	11	その他	6,792	7,173	381
投資その他の資産	16,381	17,229	847	負債合計	32,934	34,206	1,271
				(純資産の部)			
				株主資本	25,571	26,322	751
				その他の包括利益累計額	9,966	10,468	501
				非支配株主持分	1,741	1,728	△ 13
				純資産合計	37,279	38,520	1,240
資産合計	70,214	72,726	2,511	負債純資産合計	70,214	72,726	2,511

連結キャッシュフロー概要



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

(単位：百万円)

		前中間期	当中間期	増減額
		(A)	(B)	(B) - (A)
営業活動によるCF	税金等調整前当期純利益	△ 178	1,307	1,486
	減価償却費	770	732	△ 38
	売上債権の増減額 (△は増加)	2,339	0	△ 2,339
	たな卸資産の増減額 (△は増加)	513	△ 257	△ 771
	仕入債務の増減額 (△は減少)	△ 3,088	△ 364	2,724
	その他	△ 1,169	1,442	2,611
	計	△ 813	2,860	3,673
投資活動によるCF		△ 839	△ 1,349	△ 510
財務活動によるCF		△ 267	505	772
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)		△ 1,926	2,031	3,957
現金及び現金同等物の期首残高		7,031	5,121	△ 1,910
現金及び現金同等物の当期末残高		5,105	7,152	2,046
フリー・キャッシュ・フロー*		△ 1,652	1,510	3,163

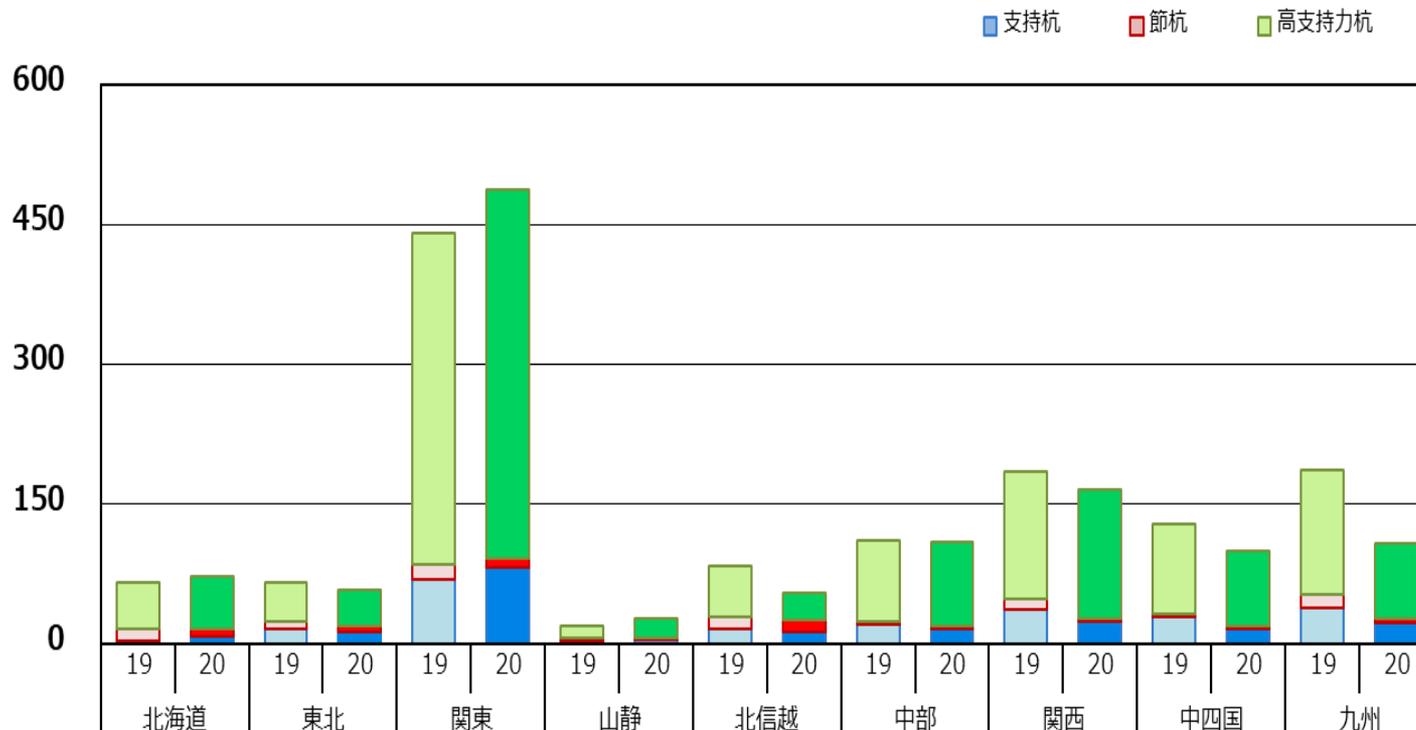
* フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

19年度・20年度上期地域別パイル需要



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

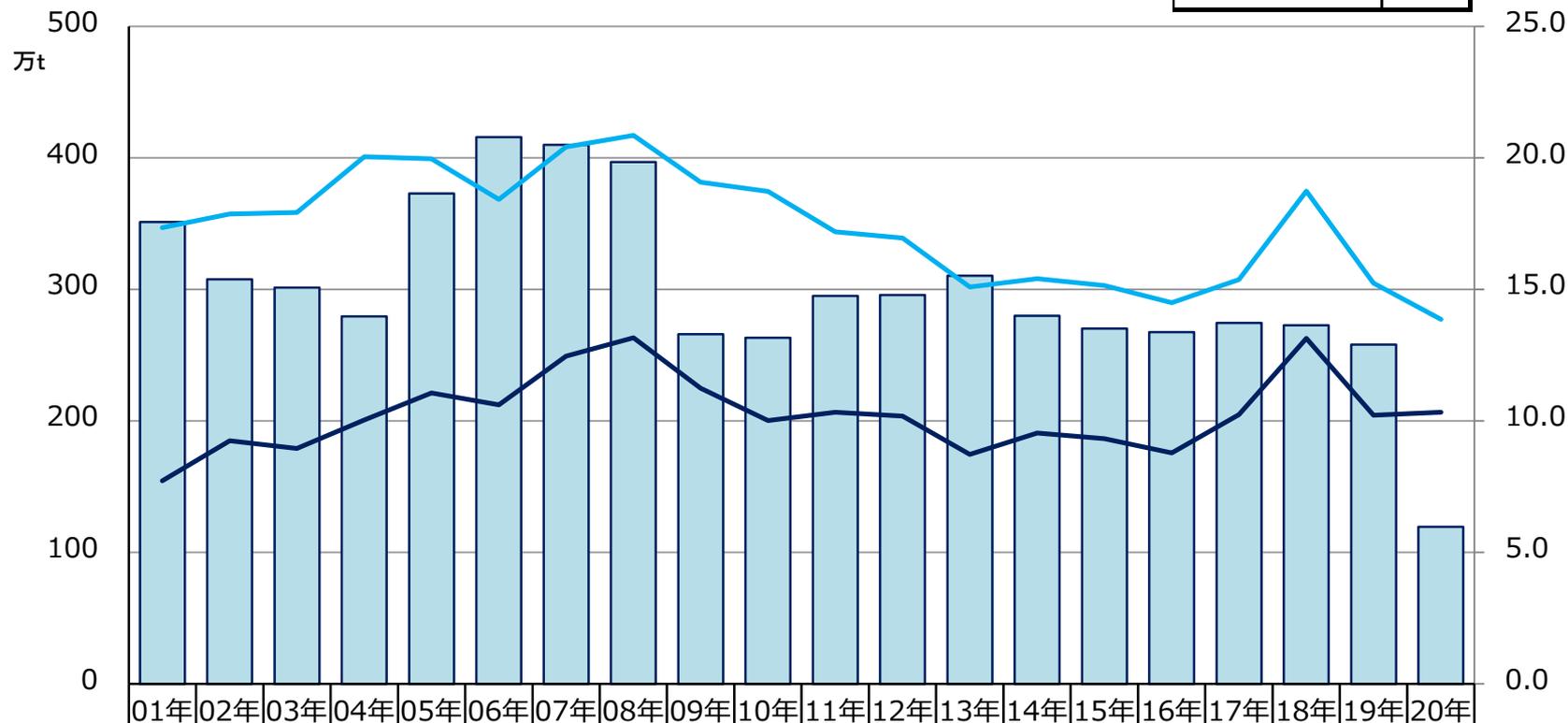
千トン



	北海道		東北		関東		山静		北信越		中部		関西		中四国		九州		19	20	増減率
	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20	19	20	合計(千トン)		
高支持力杭	51	57	42	39	357	395	13	21	54	30	86	90	138	138	97	82	133	81	974	937	-3.8%
節杭	12	7	7	6	15	11	4	2	14	12	4	4	10	4	3	3	15	5	88	58	-33.2%
支持杭	3	8	16	12	69	81	2	4	15	13	20	15	37	23	29	15	38	22	232	197	-14.9%
計	66	73	65	58	442	487	21	29	84	56	111	110	186	167	129	101	186	109	1,294	1,194	-7.8%

20年度上期パイル全国需要推移

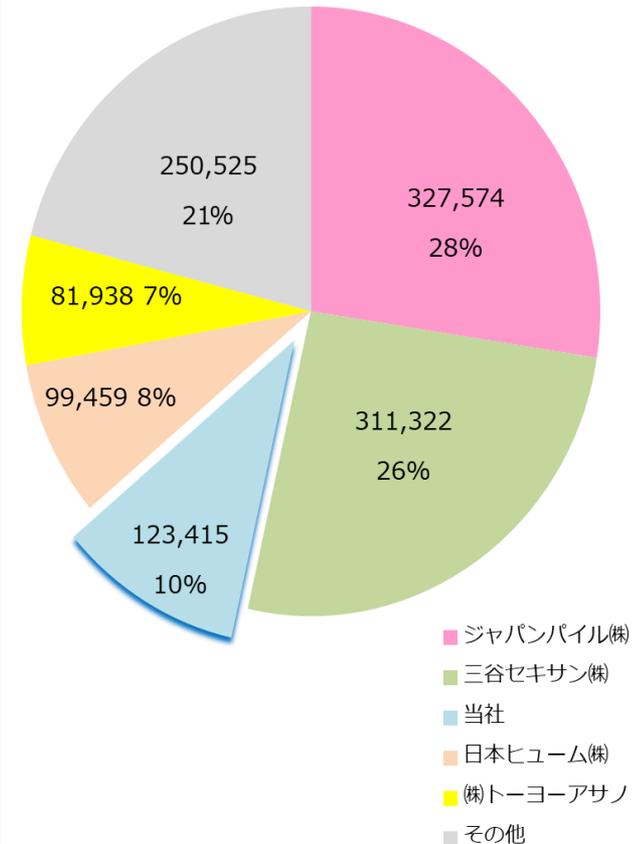
20年度出荷シェア(%)	
NC	10.33%
NCG	13.86%



■ 全国(万t)	351	308	301	279	373	416	410	397	266	263	295	296	310	280	270	268	275	273	258	119
— NCシェア(%)	7.7	9.2	9.0	10.0	11.1	10.6	12.5	13.2	11.2	10.0	10.3	10.2	8.7	9.5	9.3	8.8	10.2	13.1	10.2	10.3
— NCGシェア(%)	17.3	17.9	17.9	20.0	20.0	18.4	20.4	20.9	19.1	18.7	17.2	17.0	15.1	15.4	15.1	14.5	15.4	18.7	15.2	13.9

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1	ジャパンパイル(株)	296,546	327,574	25.00%	↓	27.43%	↓
2	三谷セキサン(株)	319,431	311,322	26.93%	↑	26.07%	↑
3*	日本コンクリート工業(株)	135,532	123,415	11.42%	→	10.33%	↑
4	日本ヒューム(株)	111,701	99,459	9.42%	→	8.33%	↑
5	(株)トーヨーアサノ	88,823	81,938	7.49%	↑	6.86%	↑
6	前田製管(株)	38,705	52,154	3.26%	↓	4.37%	→
7	日本高圧コンクリート(株)	31,785	32,739	2.68%	→	2.74%	→
8	マナック(株)	28,781	30,990	2.43%	↓	2.59%	↓
9	児玉コンクリート工業(株)	16,831	22,363	1.42%	→	1.87%	→
10	會澤高圧コンクリート(株)	12,826	14,200	1.08%	→	1.19%	→
その他	23社	105,397	98,079	8.88%		8.21%	
計(33社)		1,186,358	1,194,233	100.00%		100.00%	

パイル出荷シェア



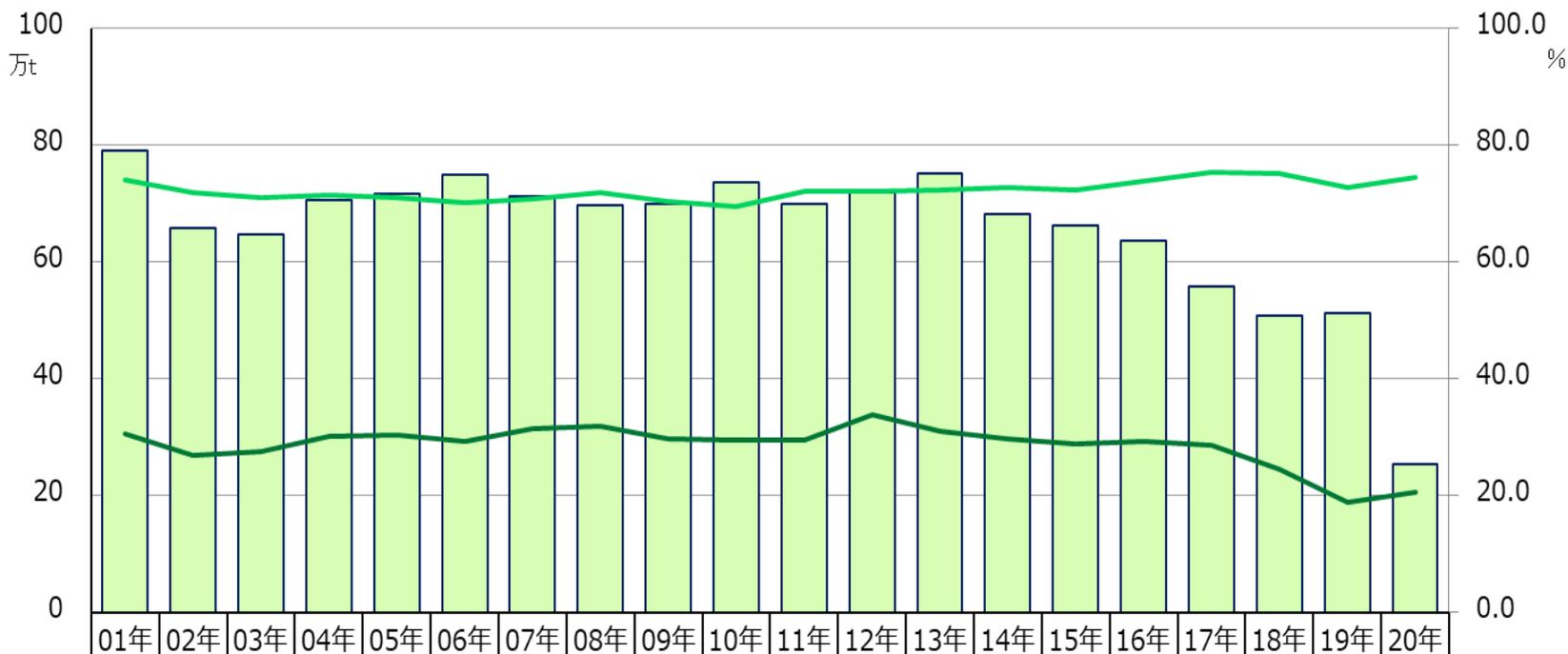
注) 1.前年同期比の→はシェアの変化が-0.3%~+0.3%
 2. (社)コンクリートパイル・ポール協会資料による。
 3.日コンG社NC貝原コンクリート(株)のパイル出荷分11,486 t はNCに加算。

20年度上期ポール全国需要推移



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

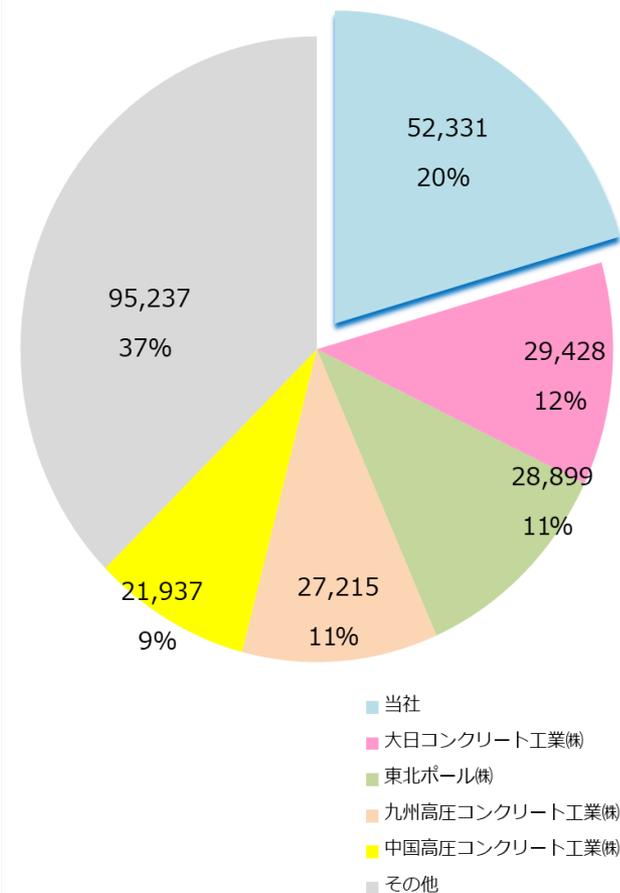
NC	20.52%
NCG	74.51%



■ 全国(万t)	79	66	65	71	72	75	71	70	70	74	70	72	75	68	66	64	56	51	51	26
— NCシェア(%)	30.6	26.9	27.6	30.3	30.4	29.2	31.5	31.8	29.8	29.4	29.4	33.8	31.0	29.8	28.8	29.2	28.7	24.4	18.9	20.5
— NCGシェア(%)	74.1	71.9	71.1	71.4	71.0	70.3	70.8	72.0	70.4	69.4	72.0	72.2	72.5	72.8	72.3	73.8	75.4	75.3	72.9	74.5

	会社名	生産量 (ton)	出荷量 (ton)	シェア			
				生産 シェア	前年 同期比	出荷 シェア	前年 同期比
1*	日本コンクリート工業(株)	55,955	52,331	21.55%	↑	20.52%	↑
2	大日コンクリート工業(株)	30,364	29,428	11.69%	↓	11.54%	↓
3*	東北ポール(株)	26,924	28,899	10.37%	↓	11.33%	↑
4*	九州高圧コンクリート工業(株)	30,410	27,215	11.71%	↓	10.67%	↓
5*	中国高圧コンクリート工業(株)	20,102	21,937	7.74%	↑	8.60%	↑
6	三谷セキサン(株)	19,638	21,086	7.56%	↓	8.27%	↓
7*	東海コンクリート工業(株)	16,201	16,760	6.24%	↓	6.57%	↓
8*	(株)日本ネットワークサポート	19,297	16,483	7.43%	→	6.46%	↓
9	日本高圧コンクリート(株)	14,890	14,214	5.73%	→	5.57%	↑
10*	北海道コンクリート工業(株)	12,822	14,105	4.94%	→	5.53%	↑
その他	4社	13,038	12,589	5.02%		4.94%	
計(14社)		259,641	255,047	100.00%		100.00%	

ポール出荷シェア



注) 1.順位に*印のついた会社は、NCグループ。

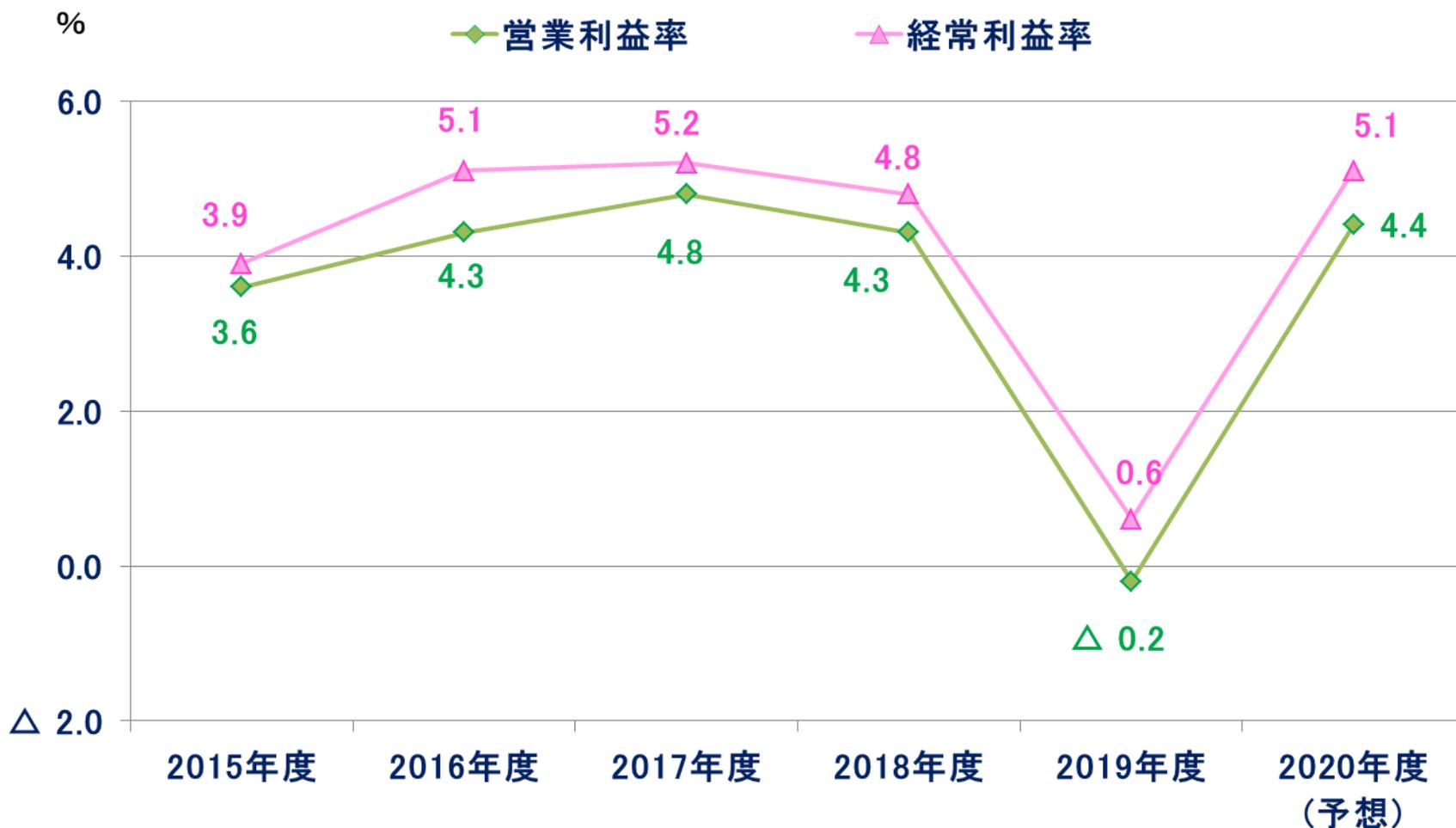
2.前年同期比の→はシェアの変化が-0.3%~+0.3%

3.(社)コンクリートパイプ・ポール協会資料による。

連結売上高営業利益率/経常利益率の推移

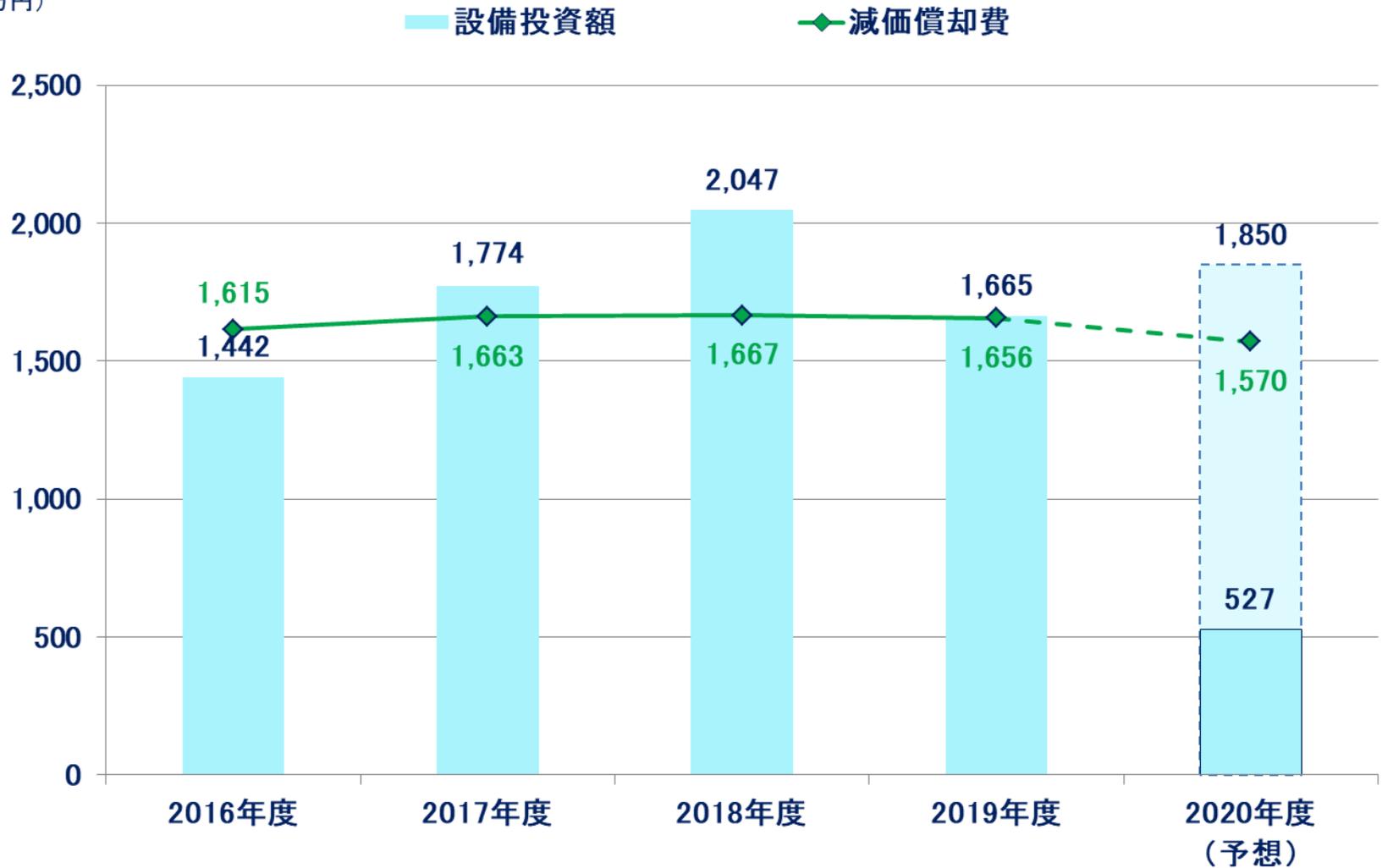


日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

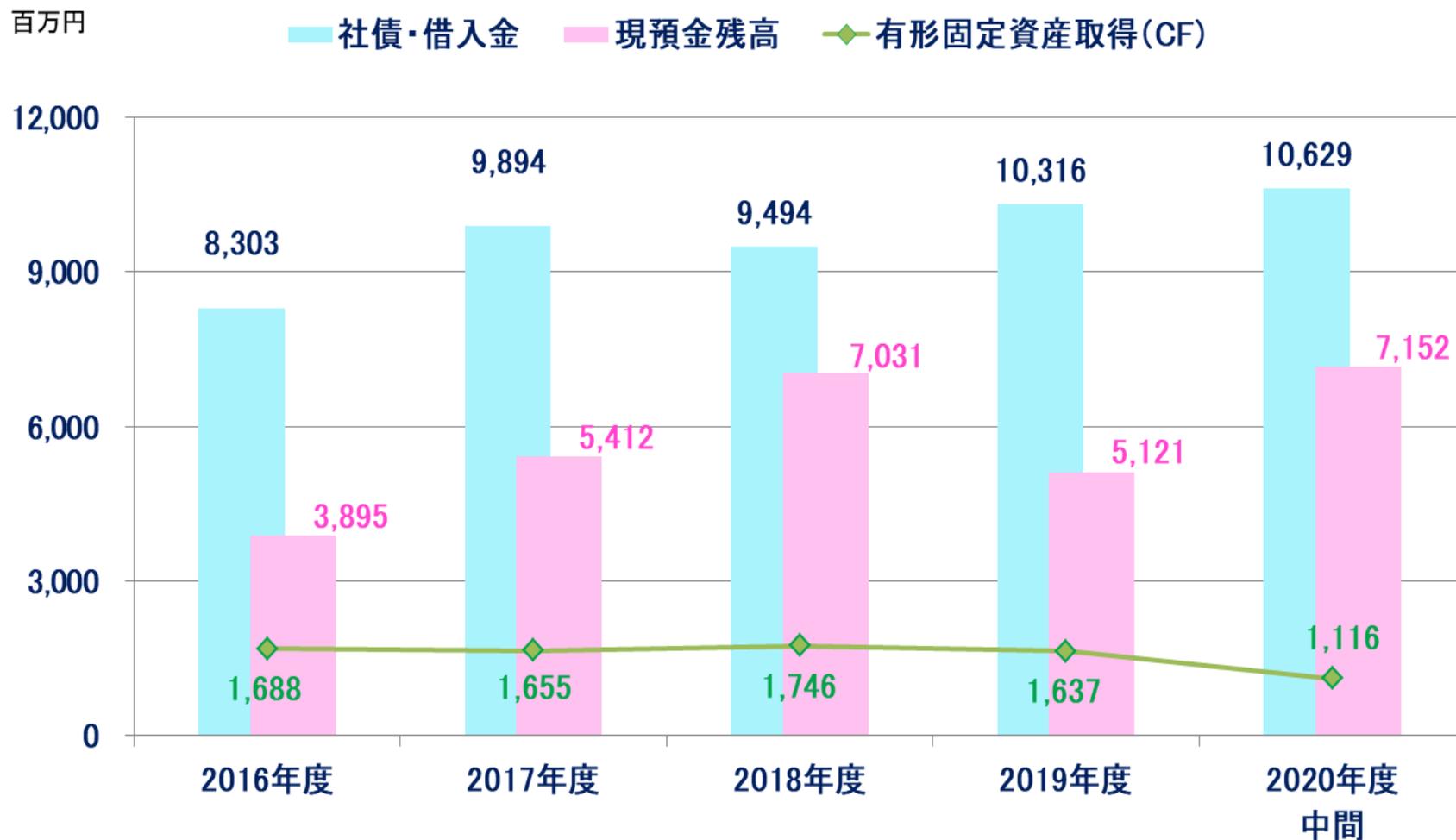


設備投資/減価償却費の推移

(百万円)



社債・借入金残高の推移



商	号	日本コンクリート工業株式会社 (英:NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.)
設	立	1948年(昭和23年)8月5日
代 表	者	代表取締役会長兼社長 網谷 勝彦
本 社 所 在 地		〒108-8560 東京都港区芝浦四丁目6番14号 NC芝浦ビル
上 場 取 引 所		東京証券取引所市場第一部(証券コード5269) 1967年(昭和42年)10月 上場
資 本 金		5,111百万円
事 業 内 容		コンクリートポール、コンクリートパイルおよびプレキャスト製品の製造、 販売ならびに施工
品質マネジメントシステム		ISO9001認証取得(2000年6月)
従 業 員 数		1,239名(2020年9月末現在 連結)
日 本 子 会 社		当社の子会社で製造・施工・販売・物流・サービスを事業とする23社で構成
NCグループ(NCG)		コンクリートポール・パイルの当社製造技術(技術供与先)を核とする 14社30工場で全国をネット

経営理念

日コングループは
「コンクリートを通して、
安心・安全で豊かな社会づくりに貢献する」
ために存在します



行動理念

私たちは、

1. お客様を大切にし、社員の働き甲斐と幸せの実現を目指します
2. コンクリートでお客様に感動を与える高い技術力を保持し、品質至上を目指します
3. 適正利潤を確保し、企業価値を高め、株主の信頼と社員の幸福を目指します
4. 私たち社員は
 - ・ 熱きチャレンジの心を持っております
 - ・ 常に自己革新を目指します
 - ・ 失敗を責めず、失敗から学びます
 - ・ 社内外での挨拶を励行します

■コンクリートパイプ

さまざまな施工ニーズに対応した基礎杭

- ・PHCパイプ
- ・PRCパイプ
- ・SCパイプ
- ・節杭
- ・エスタスパイプ
- ・RSCパイプ、RSCPパイプ
- ・SPHCパイプ

なお、PHCパイプには外観形状が異なる、HMパイプ、HBパイプなどがあります。

※差別化技術

- ◆ エスタスパイプ **独自製品**
- ◆ スマートカットオフ工法 **独自製品**
(RSCパイプ、RSCPパイプ)
- ◆ 地中熱利用ヒートポンプシステム

■得意先

官公庁、ゼネコン



エスタスパイプ

道路拡幅・斜面对策工事

■PCW工法

防減災・国土強靱化

安定性と強度を備えたプレキャストコンクリートパネルで壁面を構築し、背面へは気泡混合軽量盛土を充填することにより、道路拡幅では斜面に耐久性の高い盛土構造物を経済的に構築し、老朽化した橋梁では気泡混合軽量盛土にて埋没して耐震補強・橋梁拡幅を経済的に構築する工法

現場打ちグラウンドアンカー受圧板

■フィットフレーム工法

防減災・国土強靱化

軽量で施工性に優れ、フィットシートにより地山に密着し、理想的な荷重分布が得られる受圧板であり、逆巻き施工にも適用可能な工法

湧水のり面对策・緑化促進軽量のり枠工法

■メッシュリング工法

防減災・国土強靱化

土の安定性に優れ、凹凸に対応し、通水性・通気性の遮断がなく植物の根茎の発育に良好な工法



PCW工法

■コンクリートポール

5G

トップシェア

配電線路、通信線路、電車線路、防球ネット、照明、
移動体通信アンテナ、交通信号機、ハーモニック
ポール、防災無線、小型風力発電などの支持物、
継ポール・その他のポール、ポール付属部品
これらのコンクリート柱の点検・補修

※差別化製品

- ◆ COP (箆合式ポール)、NC-FCポール、
NC-SFCポール、TPハイポール
- ◆ NCハイポール、SCポール
- ◆ PC基礎体
- ◆ NCタワー

■得意先

NTTグループ、東京電力PG(株)、四国電力(株)、
携帯電話各社、JR、鉄道各社、官公庁

COP (箆合式ポール)



NC-SFCポール接合部拡大

■土木製品

防減災・国土強靱化

- ・擁壁（PC-壁体、親杭パネル）
- ・地中配電材（マンホール、ハンドホール）
- ・防音・吸音材（NJ軽量高欄、ポアセル）
- ・トンネル覆工材（セグメント、PCL）
- ・超高強度繊維補強コンクリート（ダクトル、サクセム）
- ・その他一般土木（ボックスカルバート、パワースラブ）

※差別化製品

- ◆ PC-壁体
- ◆ ポアセル

■得意先

官公庁、公益企業、鉄道各社、ゼネコン



RCセグメント



PC-壁体

生産・営業拠点



日本コンクリート工業株式会社
NIPPON CONCRETE INDUSTRIES CO., LTD.

工場名	所在地	製造品	営業拠点
川島工場	茨城県筑西市	ポール・パイル・土木製品	本社
鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	ポール	
古河工場	茨城県古河市	パイル	仙台営業所 茨城営業所
高砂工場	兵庫県高砂市	ポール・パイル	名古屋支店
滋賀工場	滋賀県湖南市	パイル	四日市営業所
九州工場	福岡県直方市	ポール・パイル	大阪支店
和気工場	岡山県和気町	パイル・PC床版	広島支店
笠岡工場	岡山県笠岡市	パイル	岡山営業所
小松工場	愛媛県西条市	ポール・パイル	四国支店
四日市工場	三重県四日市市	パイル	愛媛営業所
板倉工場	群馬県板倉町	セグメント	九州支店
女方工場	茨城県筑西市	セグメント	筑豊営業所
三重鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	セグメント	熊本営業所
結城工場	茨城県結城市	ポール・パイル用部分品加工	沖縄営業所
鈴鹿工場	三重県鈴鹿市	パイル用部分品加工	NC貝原コンクリート
古河工場	茨城県古河市	パイル用部分品加工	NC工基
茨城工場	茨城県古河市	パイル用鋼材加工	NCプレコン
岡山工場	岡山県和気町	建築部材	フリー工業
モーラマイン工場	ミャンマー国モン州	ポール・パイル	NIPPON CONCRETE (Myanmar)
登別工場	北海道登別市	ポール・パイル・土木製品	北海道コンクリート工業